



2022年11月24日

各位

会社名 東北電力株式会社
代表者名 取締役社長 社長執行役員 樋口 康二郎
(コード番号 9506 東証プライム)
問合せ先 販売カンパニー
販売戦略部販売戦略課長 鳴海 健文
(TEL. 022-225-2111)

小売規制料金の値上げ申請に伴う「低圧自由料金の見直し」について

当社は、本日の小売規制料金の値上げ申請にあたり、現在の電力需給状況や供給コストなどを踏まえ、燃料費調整額の算定諸元等を全面的に見直したことから、規制料金と平仄を合わせる形で、低圧自由料金の単価等を見直すことといたしました。

見直し後の新しい料金単価の適用は、規制料金と同様、現時点で2023年4月1日以降のご使用分からを予定しておりますが、規制料金は経済産業大臣の認可を受け、実施日・料金単価等が決定されることとなります。

加えて、料金単価に含まれる託送料金についても、一般送配電事業者において見直しに向けた託送供給等約款の認可申請*が予定されております。

このため、低圧自由料金についても、規制料金および託送供給等約款の認可時期・内容等を踏まえて、実施日・料金単価等を見直す場合がありますので、確定後の低圧自由料金については、あらためてお知らせいたします。

なお、現時点の「低圧自由料金の見直し」の具体的な内容は、以下のとおりです。

【低圧自由料金の「単価値上げ」】

低圧自由料金においては、小売規制料金の1kWhあたりの平均値上げ単価と、2022年12月分に適用する燃料費調整単価の差額分を、電気料金単価に上乗せいたします。

この見直しにより、低圧自由料金のお客さまについては、現在のご負担水準から、1kWhあたり平均で1.64円の値上げをお願いするものです。なお、基本料金は10A(1kVA)あたり55円、電力量料金は1kWhあたり平均で0.98円程度の値上がりとなります。

なお、主な料金プランの2022年12月分と比較した値上げ影響は、モデルケースとして、よりそうプラスeねっとバリュー(30A、260kWh)の場合で3.23%の値上げ、よりそうプラスファミリーバリュー(6kVA、600kWh)の場合で3.37%の値上げとなります。

【低圧自由料金において夜間単価を設定している料金プランの「昼夜間の単価差の見直し」】

低圧自由料金のうち、夜間単価を設定している料金プランについては、「低圧自由料金の単価値上げ」に加え、電気の使われ方や電気の供給に必要なコストの変化を踏まえ、「昼夜間の単価差の見直し」を行います。

当社では、発電設備の効率的な利用、ならびにお客さまのライフスタイルに合わせた電気料金プランを提供する観点から、昼間の料金単価を割高に、夜間の料金単価を割安に設定した電気料金プランを提供してまいりましたが、近年では再エネの普及拡大、省エネの定着などにより昼夜における電気の使い方が大きく変化し、以前と比べて昼間と夜間の供給に係る発電コスト等の差が縮小しております。

こうした需給構造の変化を料金単価に反映させることとし、電力量料金における1 kWhあたりの夜間単価を4.95円引き上げ、昼間単価を1.98円引き下げます。

なお、お客さまのご使用機器やライフスタイルによりその影響は大きく異なりますが、モデルケースの場合では、低圧自由料金の単価値上げ分を含めて、9%～22%程度の値上げになるものと考えております。

【燃料費調整制度における基準燃料価格等の見直しについて】

規制料金の値上げ申請にあたっては、最新の電源構成などを反映し、燃料費調整単価算定の基礎となる基準燃料価格・基準単価等の算定諸元を見直しております。

低圧自由料金についても、規制料金と平仄を合わせる形で、燃料費調整単価算定の基礎となる基準燃料価格等の算定諸元の見直し等を行います。

お客さまには、より一層のご負担をお願いすることにつきまして、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

当社といたしましては、引き続き徹底した経営効率化に取り組み、お客さまに安定的に電力をお届けするとともに、少しでもお客さまのご負担軽減につながるよう、電気の効率的なご利用方法などのご提案に取り組んでまいります。

以 上

※ 託送料金はすべてのお客さまの電気料金単価に含まれていることから、一般送配電事業者による託送料金単価の見直しは、小売規制料金や低圧自由料金のお客さまだけではなく、高圧以上のお客さまの電気料金にも影響が生じる可能性があります。

(別紙) 低圧自由料金の見直しについて

低圧自由料金の見直しについて

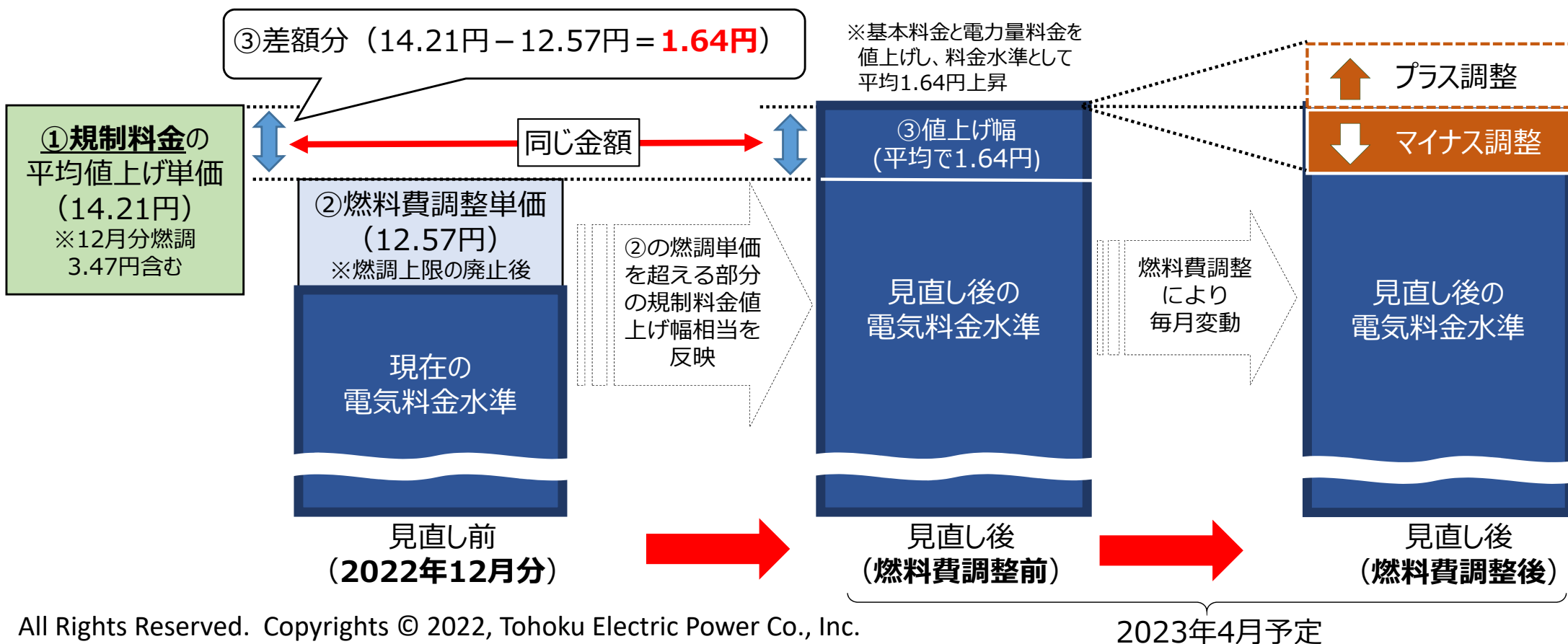
2022年11月24日
東北電力株式会社

低圧自由料金の「単価値上げ」について（1/3）

- **小売規制料金の1kWhあたりの平均値上げ単価（①）と、2022年12月分に適用する燃料費調整単価（②）の差額分（③）を電気料金に上乗せいたします。**
- これにより、低圧自由料金のお客さまについては、現在のご負担水準から、**平均で1kWhあたり1.64円の値上げをお願いいたします。**なお、**基本料金は10A(1kVA)あたり55円、電力量料金は1kWhあたり0.98円程度の値上げとなります。**
- **2023年4月に予定されている託送料金の見直しによる変動分もあわせて反映する予定ですが、当該変動分も含めた新しい料金単価の適用は、規制料金と同様、現時点で2023年4月1日以降のご使用分からを予定しております**(規制料金の審査状況等を踏まえ実施日等を変更する場合があります、確定後の低圧自由料金については、あらためてお知らせいたします)。

【低圧自由料金単価の見直し（イメージ）】

※1kWhあたり、託送料金変動分は含まない



- 低圧自由料金の「単価値上げ」の対象となる料金プランは以下の通りです。

「単価値上げ」の対象料金プラン（全35プラン）

- よりそう+eねっとバリュー
- よりそう+ファミリーバリュー
- よりそう+ナイト&ホリデー
- よりそう+スマートタイム
- よりそうB総合高稼動(低圧高稼動契約)
- よりそうB季節別電灯(季節別高負荷率電灯)
- よりそうB動力プラン
- よりそうCスノー&ホーム
- よりそうCスノーA・AⅡ/B・BⅡ(融雪用電力A・AⅡ/B・BⅡ)
- よりそう+ナイト8(時間帯別電灯A)
- よりそう+ナイト10(時間帯別電灯B)
- よりそう+ナイトS(時間帯別電灯S)
- よりそう+ナイト12
- よりそう+シーズン&タイム
- よりそう+サマーセーブ(ピークシフト季節別時間帯別電灯)
- よりそうB季時別電力(低圧季節別時間帯別電力)
- よりそうCパワーナイト(深夜電力AB・C、深夜電力[限定])
- 低圧蓄熱調整契約※
- よりそう、でんき

※ オプションプラン（割引）である低圧蓄熱調整契約は「単価値上げ」の対象プラン数に含まない。

• 低圧自由料金の「単価値上げ」の影響額は以下の通りです。

【主な料金プランの改定単価（託送料金変動分は含まない）】

契約種別	区分		現行単価※1	改定単価	値上げ幅
よりそう+ e ねっとバリュー	基本料金（10Aにつき）		275.00円	330.00円	55.00円
	電力量料金	最初の120kWhまで	31.15円	31.79円	0.64円
		120kWhから300kWhまで	37.90円	38.68円	0.78円
		300kWhをこえる分	41.85円	42.89円	1.04円
よりそう+ ファミリーバリュー	基本料金（1kVAにつき）		330.00円	385.00円	55.00円
	電力量料金	最初の400kWhまで	35.33円	36.06円	0.73円
		400kWhをこえる分	40.28円	41.59円	1.31円
よりそうB 総合高稼動	基本料金(1kWにつき/主開閉器)		1,540.00円	1,595.00円	55.00円
	電力量料金	夏季	31.37円	32.35円	0.98円
		その他季	29.66円	30.64円	0.98円

※1 現行単価には、2022年7月～9月の平均燃料価格による燃料費調整単価を含みます。

【主な料金プランの値上げ影響額試算】

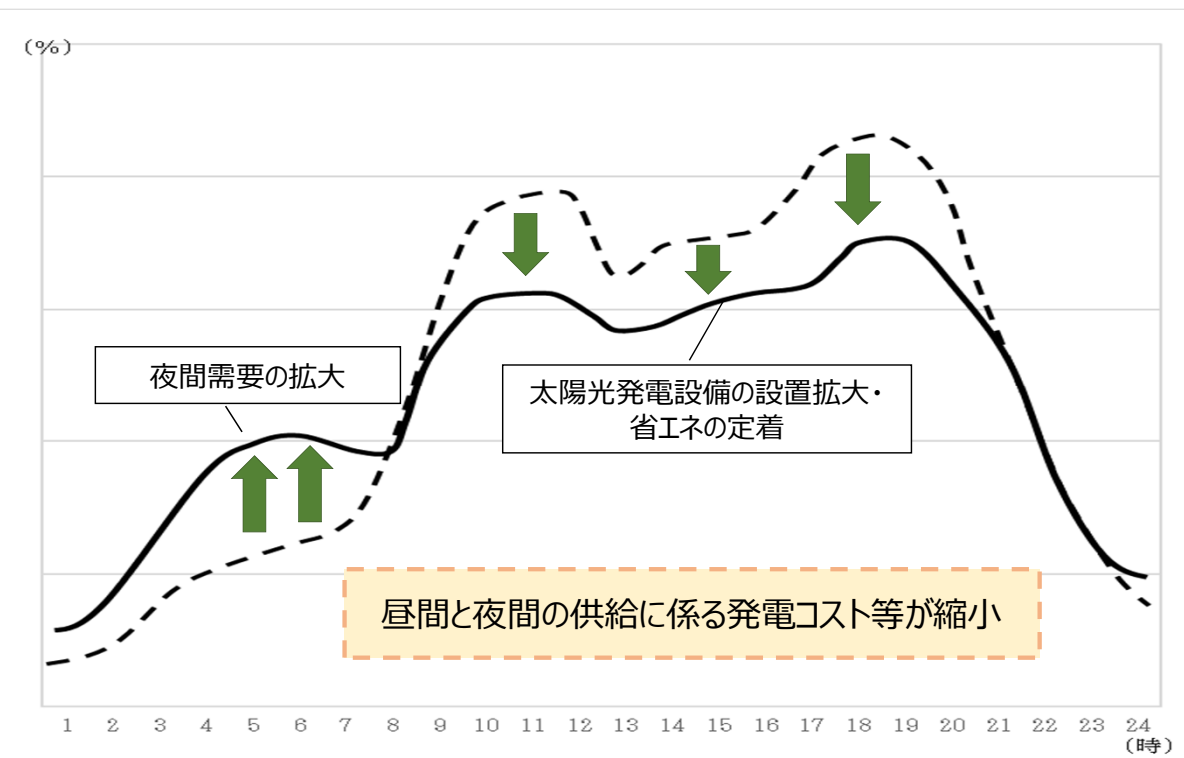
モデルケース	1ヶ月の使用量	現行料金※1	改定料金※2	値上げ額	値上げ率
よりそう+ e ねっとバリュー(契約電流30A)	260kWh	10,876円	11,227円	351円	3.23%
よりそう+ファミリーバリュー(契約容量6kVA)	600kWh	26,238円	27,122円	884円	3.37%
よりそうB 総合高稼動(契約電力39kW)	5,710kWh	249,117円	256,858円	7,741円	3.11%

※1 現行料金には、2022年7月～9月の平均燃料価格による燃料費調整単価にもとづく燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

※2 2023年4月以降の使用分から実施予定。改定料金には、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

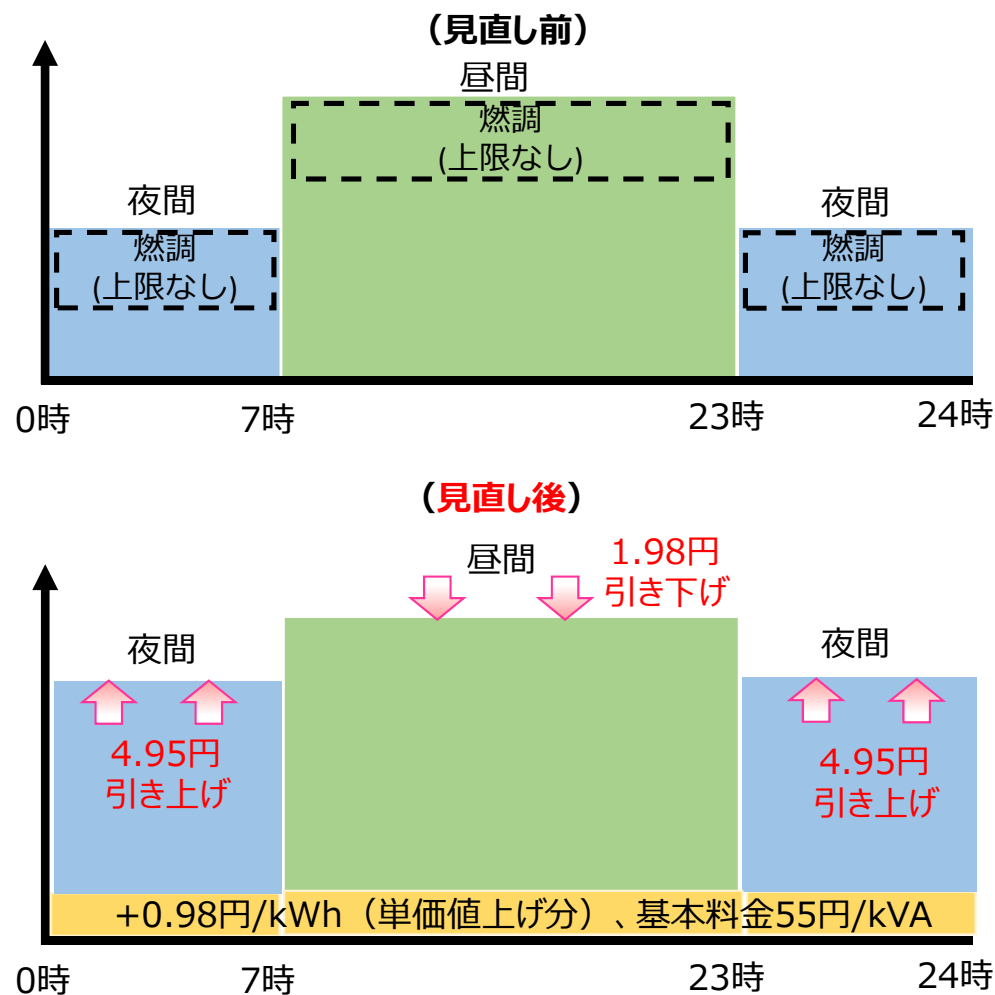
- 低圧自由料金のうち、現在お客さまにご契約を頂いている夜間単価を設定している料金プランについては、単価の値上げ（1kWhあたり平均1.64円）に加え、**電気の使われ方や電気の供給に必要な発電コスト等の変化を踏まえ、電力量料金における昼夜間の単価差を見直いたします。**
- 具体的には**夜間単価を4.95円引き上げ、昼間単価を1.98円引き下げます。**なお、**現時点で2023年4月1日以降の使用分からの見直しを予定しております**(規制料金の審査状況等を踏まえ実施日等を変更する場合があります、確定後の低圧自由料金については、あらためてお知らせいたします)。

【電気の使われ方の変化（イメージ）】



➤ 深夜機器の普及により需要が増加した一方で、再エネの普及拡大、省エネの定着などにより昼間の需要が減少

【昼間単価・夜間単価の単価差の見直しイメージ】



低圧自由料金において夜間単価を設定している料金プランの「昼夜間の単価差の見直し」(2/3)

- 低圧自由料金のうち、単価の値上げに加え、「昼夜間の単価差の見直し」の対象となるプランは以下の通りです。

「単価値上げ」の対象料金プラン（全35プラン）

- よりそう+eねっとバリュー
- よりそう+ファミリーバリュー
- よりそう+ナイト&ホリデー
- よりそう+スマートタイム
- よりそうB総合高稼動(低圧高稼動契約)
- よりそうB季節別電灯(季節別高負荷率電灯)
- よりそうB動力プラン
- よりそうCスノー&ホーム
- よりそうCスノーA・AⅡ/B・BⅡ(融雪用電力A・AⅡ/B・BⅡ)
- よりそう+ナイト8(時間帯別電灯A)
- よりそう+ナイト10(時間帯別電灯B)
- よりそう+ナイトS(時間帯別電灯S)
- よりそう+ナイト12
- よりそう+シーズン&タイム
- よりそう+サマーセーブ(ピークシフト季節別時間帯別電灯)
- よりそうB季時別電力(低圧季節別時間帯別電力)
- よりそうCパワーナイト(深夜電力AB・C、深夜電力[限定])
- 低圧蓄熱調整契約※
- よりそう、でんき

**昼夜間の単価差の見直しを行う
対象料金プラン（17プラン）**

※ オプションプラン（割引）である低圧蓄熱調整契約は「単価値上げ」の対象プラン数に含まず、昼夜間の単価差の見直しを行う対象プラン数に含む。

• 低圧自由料金のうち、単価の値上げに加え、「昼夜間の単価差の見直し」による影響額は以下の通りです。

【主な料金プランの見直し単価・電力量料金（託送料金変動分は含まない）】

契約種別	区分		現行単価※1	新単価	値上げ幅内訳	
					昼夜間の単価差の見直し分	単価値上げ分
よりそう+ナイト8 (時間帯別電灯A)	昼間 (7-23時)	最初の90kWhまで	34.66円	33.66円	▲1.98円	+0.98円
		90kWhから230kWhまで	42.70円	41.70円	▲1.98円	+0.98円
		230kWhをこえる分	47.40円	46.40円	▲1.98円	+0.98円
	夜間(23-7時)		23.69円	29.62円	+4.95円	+0.98円
よりそう+ シーズン&タイム	昼間 (8-22時)	夏季・冬季ピーク	55.71円	54.71円	▲1.98円	+0.98円
		その他季ピーク	51.79円	50.79円	▲1.98円	+0.98円
		オフピーク	39.30円	38.30円	▲1.98円	+0.98円
	夜間(22-8時)		24.00円	29.93円	+4.95円	+0.98円
深夜電力 B	夜間のみ		23.69円	29.62円	+4.95円	+0.98円

※1 現行単価には、2022年7月～9月の平均燃料価格による燃料費調整単価を含みます。

【主な料金プランの値上げ影響額試算】

モデルケース	深夜機器	1ヶ月の使用量	現行料金※1	改定料金※2	値上げ額	値上げ率
時間帯別電灯 A (契約容量：12kVA)	電気温水器 蓄熱式電気暖房器	2,050kWh (夜間1,851kWh)	61,335円	72,773円	11,438円	18.65%
よりそう+シーズン&タイム (契約容量：10kVA)	エコキュート	770kWh (夜間446kWh)	31,239円	34,110円	2,871円	9.19%
深夜電力 B (契約電力：4kW)	電気温水器	550kWh	16,158円	19,640円	3,482円	21.55%

※1 現行料金には、2022年7月～9月の平均燃料価格による燃料費調整単価にもとづく燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

※2 2023年4月以降の使用分から実施予定。改定料金には、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

【参考 1】新たな託送料金制度導入に伴う託送料金変動分の反映について

- 2023年度から新たな託送料金制度「レベニューキャップ制度※1」が導入されることに伴い、お客さまへ電気をお届けする際に使用する送配電設備の使用料に該当する「託送料金」の見直しが予定されております。
- 託送料金の見直しにあたっては、一般送配電事業者（東北電力ネットワーク）による経済産業大臣への託送供給等約款の認可申請が必要となりますが、現時点で認可申請が行われていないことから、本資料に記載している料金には、当該見直し分を反映しておりません。
- 具体的な見直し内容については、現時点で未定であるものの、託送料金の見直しによる変動分については、ご契約いただいているすべてのお客さまを対象に、2023年4月のご使用分から電気料金に反映することとしております。
- 今後、一般送配電事業者による認可申請、経済産業大臣による認可を経て決定されることから、確定次第あらためてお知らせいたします。

【託送料金の見直し影響（託送レベニューキャップ制度導入に伴う変動影響（見込み）※2】

	変動影響見込み (1kWhあたり影響額/税込)
低圧	1円21銭
高圧	25銭
特別高圧	10銭

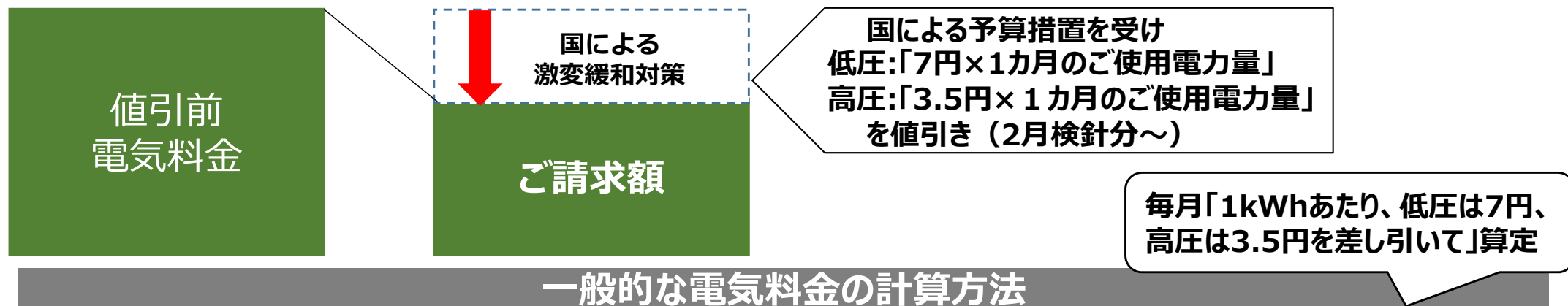
※1 「強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」（2020年6月成立）に基づき改正された電気事業法により、一般送配電事業者における必要な投資の確保とコスト効率化を両立させ、レジリエンス強化や再生可能エネルギーの主力電源化を図ることを目的に、従来の総括原価方式に代わって、新たに導入される託送料金制度です。

※2 東北電力ネットワークの公表資料（2022年7月25日）にもとづく参考値を、当社にて税込表示にしたものです。具体的な金額は、一般送配電事業者による認可申請、経済産業大臣による認可を経て決定されます。

【参考2】国による電気・ガス価格激変緩和対策について

- 2022年10月28日に、電気料金の激変緩和対策を含む「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策※」が閣議決定されました。
 - 本内容にもとづき、お客さまのご負担軽減を直接的に実現する措置として、「低圧のお客さまについては1kWhあたり7円、高圧のお客さまについては同3.5円を電気料金のご請求時に値引きを行う措置」を実施いたします。
 - 本措置は、2023年1月検針日以降ご使用分（2月検針分）の電気料金から適用いたしますが、低圧の電気料金値上げ実施後（4月以降）も、継続いたします。
 - 具体的には、毎月の電気料金の計算において、燃料費調整単価から低圧7円/高圧3.5円を差し引いた金額にもとづき電気料金をご請求するものです。
 - 本措置により、家庭用のモデル料金においては、電気料金から毎月1,820円の値引き（国におけるモデルケース（使用電力量400kWh/月）においては、毎月2,800円の値引き）を行います。
 - 本措置は、国の予算措置を受けて実施するものであり、2023年9月検針日以降ご使用分（10月検針分）で措置が縮小（半減）されることとなっております。なお、それ以降については未定であるため、国の制度設計を踏まえて対応してまいります。
- ※ 国による電気・ガス価格激変緩和対策は、低圧契約の家庭等および高圧契約の企業等に対して支援を行うとされている。

【国による電気・ガス価格激変緩和対策を受けたご負担軽減イメージ】



一般的な電気料金の計算方法

基本料金	+	電力量料金	+	再生可能エネルギー 発電促進賦課金	±	燃料費調整額
		電力量料金 単価 × 1カ月の ご使用電力量		再生可能エネルギー 発電促進賦課金単価 × 1カ月の ご使用電力量		燃料費 調整単価 × 1カ月の ご使用電力量

- お客さまにはダイレクトメールにより電気料金の値上げについてお知らせしてまいります。
- また、当社ホームページ内に専用サイトを開設し、電気料金値上げ全般に関する情報を幅広くお知らせするとともに、お客さまとのあらゆる接触機会を捉えて、丁寧にご説明してまいります。

お知らせ方法	<ul style="list-style-type: none">● ダイレクトメールにより電気料金の値上げについてお知らせいたします。（2023年1月上旬以降、順次発送予定）● 当社ホームページ内に専用サイトを開設し、申請に至った背景、電気料金値上げの申請内容、経営効率化への取り組み等をお知らせいたします。● 専用サイト内に、値上げ申請内容にもとづくお客さまの電気料金影響額をご試算いただける機能を準備いたします。（2022年12月下旬リリース予定）● そのほか、お客さまとのあらゆる接触機会を通じて、丁寧にご説明に努めてまいります。
お問い合わせへの対応	<ul style="list-style-type: none">● 値上げ申請に関するお客さまからのお問い合わせにつきましては、専用フリーダイヤルを設置し、丁寧な対応に努めてまいります。 <div data-bbox="698 1241 2105 1407" style="background-color: #e0f0ff; padding: 10px; text-align: center;"><p>専用フリーダイヤル 0120-393-043 平日9時～17時（土日祝日・年末年始 [12/29～1/3] を除く）</p></div>

【参考4】節電や電気料金の節約につながる提案活動

- 当社は、経済産業省補助事業「電気利用効率化促進対策事業」と連動し、「冬の節電チャレンジキャンペーン」を展開しております。
- 「①月間型プログラム（前年同月と比べて3%以上の節電にご協力いただいた場合に特典を進呈）」「②指定時型プログラム（当社が指定した時間帯に節電にご協力いただいた場合に特典を進呈）」の2種類のプログラムをご用意するとともに、ご家庭で取り組める節電方法のご紹介を通じて、お客さまのご負担軽減をサポートしてまいります。
- 今後も、節電を通してお客さまのご負担軽減につながる取り組みを検討してまいります。



国の節電プログラムに基づき
 さらに！
 全員に
よりそう
プレゼント！
eポイント
2,000
ポイント
進呈！
 抽選で
よりそう
プレゼント！
eポイント
5,000
ポイント
進呈！
 50,000eポイント
進呈！

さらに！キャンペーン期間中に節電すると、もーっとおトク！

月間型の節電プログラム | 指定時型の節電プログラム

開催期間 2023年3月31日 ☺まで

開催期間 2023年3月31日 ☺まで

【節電方法のご紹介】



リビング
ROOM



エアコン

- 1 冬の暖房時の室温は20℃を目安に

外気温度5℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)

月間で電気約9.42kWhの省エネ、約240円の節約
- 2 暖房は必要なときだけつける

暖房を1日1時間短縮した場合(設定温度:20℃)

月間で電気約7.23kWhの省エネ、約180円の節約
- 3 フィルターを月に1回か2回清掃

フィルターが目詰りしているエアコン(2.2kW)とフィルターを清掃した場合の比較

月間で電気約4.40kWhの省エネ、約110円の節約

■ キャンペーン特設サイト

https://www.tohoku-epco.co.jp/energy_saving_cp/2022winter/